



生徒指導通信

仙台市立八乙女中学校

No. 6 令和4年9月5日



夏休み前に外部講師による教室を実施しました

夏休み前、7/14にスマホ・ケータイ安全教室（1年生対象、講師：NTTdocomo）、7/20に防犯教室（全学年対象、講師：泉警察署生活安全課）を実施しました。

スマホ・ケータイ安全教室



生徒たちはオンラインで、各教室のテレビでプレゼンテーションや動画を見ながら、スマホやケータイの使い方について学びました。今はスマホやケータイを持っている中学生は一昔前よりもさらに増え、生徒たちのコミュニケーションツールにもなっています。ツールとして使っているSNSも、LINEやTwitter、Instagramなど、多岐にわたっています。

いくつかのテーマでお話をいただきました。「メッセージのやりとり」では、人によって言葉の使い方や受け取り方が違うということ。「自分や友達の情報」では、自分や友達の個人につながる情報を流すことの危険性や、気を付けるポイント。「姿の見えない人とのやりとり」では、SNSに書き込むときのポイントややりとりの正しいあり方について。「スマホに振り回されないために」では、振り回されないためのチェックポイントなど、様々な観点からのお話があり、生徒たちはそれぞれの課題に対して真剣に耳を傾け、話し合っていました。



防犯教室

防犯教室についても、生徒たちはオンラインで、各教室のテレビでプレゼンテーションを見ながら、夏休みに向けての生活の留意点についての講話を聞きました。県内で起きている少年非行、インターネットの危険性、薬物乱用など、実施に起きている事例を紹介していただきながら話を聞くことができました。以下、生徒の感想文です。

- 自分たちと同じくらいの年齢の人が犯罪をしていることにびっくりしました。始めは、犯罪は自分にはあまり関係のないものだと思っていましたが、話を聞いて、関係ないものではないのだと思いました。また、薬物乱用のお話では、タバコやお酒、シンナーを始めた年齢がだいたい中学生くらいということに驚いたのと同時に、すごく怖くなりました。自分の身の回りにも危険なものがあるかもしれないので、もし誘われたら勇気を出して断って、楽しく過ごせるようにしたいと思います。（1-5 SS）
- 万引きはニュースでよく見るけど、どうして万引きするのだろうと考えたときに、今日教えてもらったように「1回だけならいいでしょ」などと軽く考えていたとのことだったので、私もこのようにならないように日頃から意識していきたいです。また、携帯電話の使用について、よく私はLINEなどのSNSを使っています。誰もが簡単に見られたりコピーできたりするので、『じょいふる』を意識して気を付けていきたいです。夜の利用は私もしてしまっているので、気を付けます！（1-1 AM）

- 私は、初めて非行という言葉を知りました。実際に宮城県でも多くの人が非行をしていて、とても驚きました。ゲームセンターに18時以降に行くと補導をされて、親や学校、警察の方々に迷惑をかけるので、絶対にしないようにと思いました。「イカのおすし」は中学生になってからあまり聞かなかったけれど、この言葉は小学生だけでなく、中高生や大人まで関係していると改めて感じました。かぜ薬の利用の話も小さいことだなあと思ったけど、薬物乱用につながると聞き、驚きました。(1-3 HS)
- 自分と同じくらいの年齢の人が犯罪をしていてびっくりしました。夏休みが始まるから、時間を守って生活していきたいと思います。薬物を見たことはないけど、パッケージをかわいくして手に取りやすいようにしているということが分かったので、よく分からないものは買わないようにしようと思いました。そして、ネットの使い方も改めて確認していこうと思います。顔も知らない人と会うことは犯罪に巻き込まれる恐れがあるから、気を付けていきたいと思います。(2-4 SH)
- 危険薬物などが自分の身近にあるもので、普段見ているものに似せているものがあり、何が入っているのか分からないということが怖かったです。インターネットにも危険があり、何気ない写真の中にも個人情報隠れているということを改めて感じる事ができました。夏休みに限らず、犯罪に巻き込まれるリスクがあることを感じ、考えて生活していきたいです。(2-2 MI)
- 犯罪や非行は、私達も巻き込まれる可能性があり、特にインターネット依存はすぐになりそうと思った。時間を見てたり、「時間があるからスマホいじろう」とならないようにしたりしたい。深夜徘徊は自分の身を守るためにやってはダメで、でも、コンビニに行くだけでもダメなんだと少しびっくりした。薬物乱用も、覚醒剤や大麻だけでなく、普通のかぜ薬でも使い方を間違えれば危険なものになることが分かった。「薬と毒は表裏一体」という言葉を思い出した。危ない薬は将来の私達を害するものなので、見かけても絶対にさわらないようにする。(2-3 KR)
- 今回の防犯教室を通して、インターネットや薬物乱用の危険性が分かりました。特にインターネットは誰でも見ることができるし、どのような人が利用しているかも分からないので、とても怖い存在だということを感じました。自分はSNSをしていませんが、これからの将来で使う場面は多くなると思うので、今回の防犯教室を思い出して利用していきたいと思います。薬物乱用にしても、身の回りの誰かが持っていて、使用している可能性が0ではないので、そのような人に巻き込まれないようにしたいし、万が一巻き込まれた場合はすぐに断るということをしたいです。(3-1 SE)
- 宮城県内の少年非行は思ったよりも多く、万引きなどの犯罪は一度してしまうとクセになることがあるため、軽い気持ちでやってはいけないと思った。テレビや新聞で公開されている以外にも、犯罪被害は日本中に溢れていると知った。小学生の時にも習った「イカのおすし」を忘れずに生活していきたい。そして、インターネットを利用するときは、特性を理解した上で責任を持って利用したいと思った。今後も、様々な場面で自分を守るために適切な行動をとっていきたい。(3-5 ON)
- 宮城県でも、中学生の犯罪が起こっていて驚いた。インターネットは誰もが使うけど、簡単に個人情報とかが知れ渡ってしまう怖さがある。犯罪の被害に遭ってしまうこともあるので、気を付けようと思った。中学生はネットいじめ・高額請求・スマホ依存になりやすいため、特にこの3つには気を付けなければならない。かぜ薬を飲んで眠気をもらうだけでも薬物乱用になってしまうのは知らなかった。常に自分の身近で起こっているのだから、注意したい。たばこ・酒には絶対に手を出さない。(3-3 YA)

